

## テーマ: 国際政治学・国際政治史

【授業の主旨・目的】 本ゼミでは、激動する国際情勢を理解することを目的とします。主に国家間の外交関係を中心に国際社会の諸問題を多面的・多角的に考察していきますが、国際機構から個人まで国家以外のアクターも研究対象とします。分析にあたっては、特に歴史的アプローチを重視し、学生が研究したい事例の原因・結果・影響について把握することを目指すつもりです。

担当教員の専門分野は国際政治史/外交史です。具体的には、日本・ヨーロッパ・アメリカなどの外交文書を分析解釈し、歴史を再構成・再評価することを試みています。日本を含めて諸国の外交史料館のホームページから閲覧が可能な外交文書が増えているため、このような多言語的・歴史的研究に挑戦したい学生を特に歓迎します。

ゼミでは、英語・日本語の双方を使用します。担当教員が英語を使ったり、英語の文献や映像などを用いたりすることがあるため、受講者には相応の英語力が求められます。従って、英語で研究指導を受けられる自信がない学生に、本ゼミは向いていないかもしれません。しかし、受講者は日本語で参加したり、日本語で卒業論文を書いたりすることについては問題ありません。The working language of the seminar will be both English and Japanese. Since the instructor will mainly use English, students are expected to have a strong grasp of the English language to understand class materials, receive research guidance, and follow instructions. However, students have the option to engage in Japanese and are generally expected to write their bachelor papers in Japanese.

【授業計画】 受講者と相談の上、ゼミの具体的な進め方を決定します。

【成績の評価方法】 ゼミの運営面でも勉強面でも、受講者の積極性と自主性に大いに期待します。受講者と一緒にゼミを作り上げていきたいので、報告・プレゼン・討論を含む積極的な参加が求められることを意識しておいてください。また、特別な理由がない限り、無断欠席は認められません。

【教科書】 ゼミで扱う資料については、検討中です。受講者の関心も重視したいので、本ゼミを希望する学生からの提案も柔軟に受け入れます。Please be reminded that also English language materials will be used, including news reports, articles, book excerpts, and audiovisual media.

【面談に際しての注意事項】 本ゼミを希望する学生は、メールで面談を予約してください：  
[nicholas.peeters@fsc.chubu.ac.jp](mailto:nicholas.peeters@fsc.chubu.ac.jp) .

その際、件名に「ゼミ面談希望(氏名・学籍番号)」を記入し、本文で、①「本ゼミを希望する理由」、②「今現在興味・関心があるテーマ」、③「ゼミでやりたいこと」、④「冊子の面談日程に沿って、複数の面談希望日時」をできるだけ具体的に記してください。

担当教員はメールのやり取りを基本的に英語で行いますが、ゼミ希望者は日本語で連絡しても構いません。